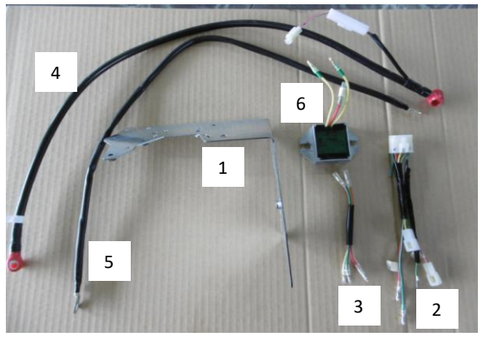
# 充電ユニット UC8A-MM116B取付要領書

MM１１６B用充電ユニット

・本ユニットは、MM１１６B，E専用
鉛バッテリー充電ユニットです。
付属のリチウムイオンバッテリーを取外し、
作業機用鉛バッテリのみを充電することで、
充電電力を増やすユニットです。
標準の充電ユニットでは、作業機で使用する
電力が足りない場合のみ本ユニットを使用
してください。
・作業機用鉛バッテリーの充電以外の目的では
使用しないでください。
また、作業機への電力供給が必要ない場合は、
標準付属のリチウムイオンバッテリーを使用
してください。
・本ユニットを取り付けた場合、セルモータの
起動を作業機用バッテリーの電力で行います。
・使用する鉛バッテリは、作業機の目的にあった
自動車用１２Vバッテリーを使用してください。
（自動車用小型蓄電池12N24以上推奨）

構成部品



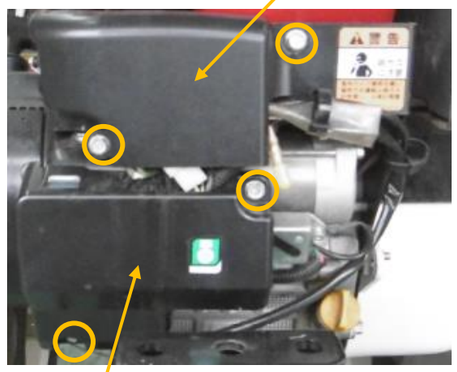

| No. | 部品名称 | 数量 |
|---|---|---|
| 1 | 取付ステー | 1 |
| 2 | ハーネス（キースイッチ | 1 |
| 3 | ハーネス（コイル | 1 |
| 4 | ハーネス（バッテリ | 1 |
| 5 | ハーネス（Bアース | 1 |
| 6 | レギュレータ | 1 |
| 7 | ワイヤトメバンド | 3 |
| 8 | ツバ付ボルト６Ｘ１２ | 2 |
| 9 | スクリュー５Ｘ１２ | 3 |

充電ユニット組付け要領書

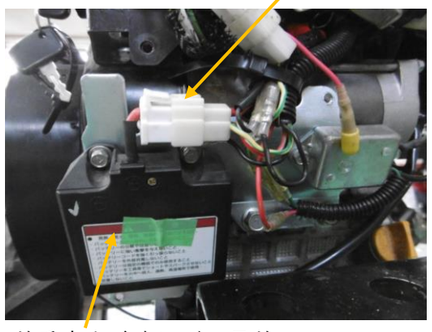
作業を始める前にキースイッチが「OFF」
になっていることを確認してください。

**１）本機に付いている充電ユニットと**
**バッテリの取り外し**

**１）－①**
充電ユニットカバーとバッテリーカバーを
外します




**１）－②**
リチウムイオンバッテリーのコネクタを
外して、リチウムイオンバッテリーを
外してください。（Ｍ５ビス４箇所）




**１）－③**
接続されているコネクタ、ギボシを
すべて外し、充電ユニットを取り外して
ください。



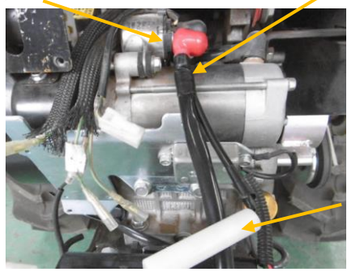

**※外したボルト、ナット類は、再利用するので、**
**なくさないでください**

**１）－④**
バッテリーケーブルとキースイッチ
ケーブル（コネクタ）を外します。



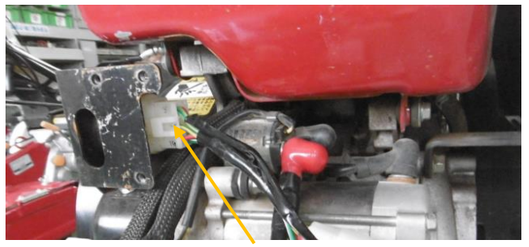

**２）充電ユニットの取付**

**２）－①**
ハーネス（バッテリーとリレーを接続します。

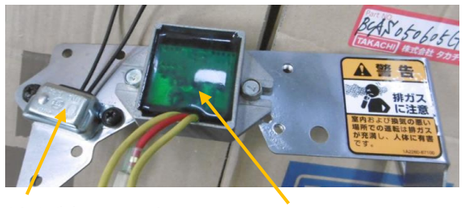



**注：**ヒューズケースが付いている側の端子を
接続してください（締付けトルク：４～６Ｎ・ｍ）

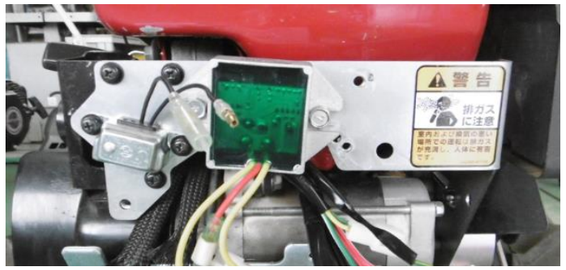
**２）－②**
ハーネス（キースイッチを接続します
※コネクタの向きを確認して接続してください

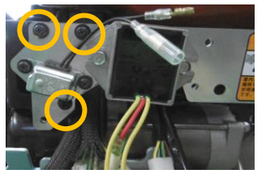


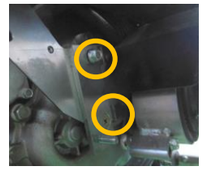
**２）－③**
取付ステーにレギュレータと始動けん制
ユニットを取付てください




**２）－④**
ステーを本機に取付ます

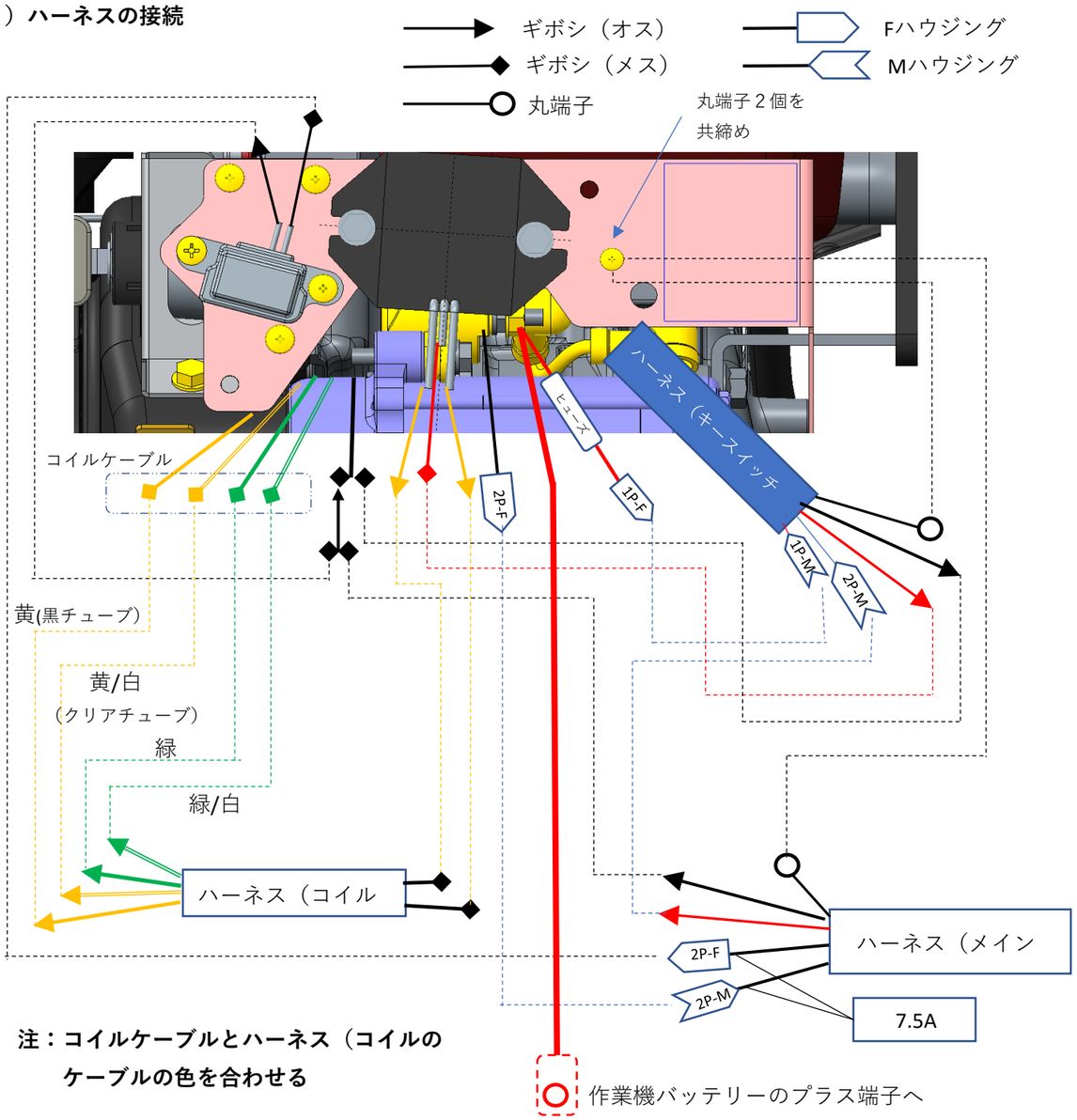



正面Ｍ５（３箇所）

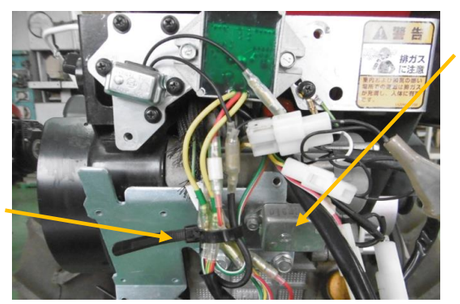

側面Ｍ８（２箇所）

1A2351-88680

## 3）ハーネスの接続




**注：コイルケーブルとハーネス（コイルの**
**ケーブルの色を合わせる**

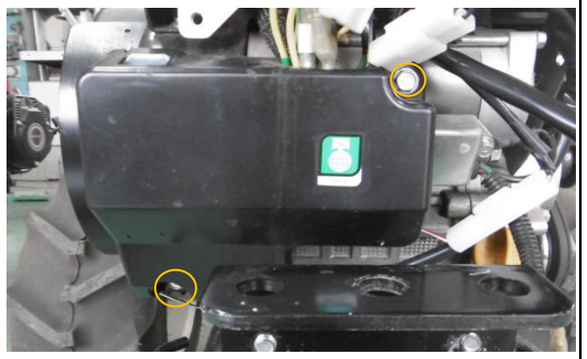



ワイヤ止めバンドで結線

このレギュレータは接続しませんが、
戻す際、見分けが付きにくいので、
取り付けたままにしておいてください

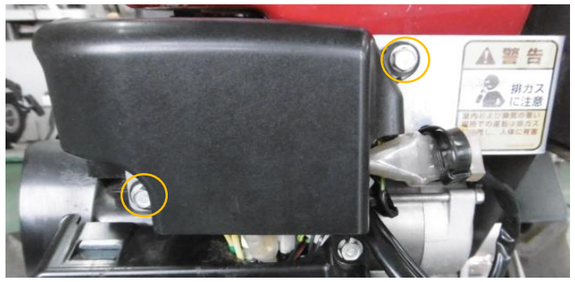
## 4）カバーの取付

4）－①バッテリーカバーを取付ます。



Ｍ６ボルト２箇所

4）－②充電ユニットカバーを取り付けます。



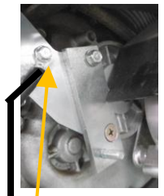

Ｍ６ボルト２箇所

**注：カバーを取り付ける際、**
**ハーネスを挟まないように注意してください**

## 5）作業機のバッテリに接続

①赤いキャップの付いた
端子をバッテリーの「＋」に
接続してください

②ハーネス（アースの
端子をバッテリーの「－」に
接続してください



ハーネス（Ｂアース

＋　　－

**作業機バッテリー**

③ステー(側面）に
接続してください。
（付属ボルトＭ６Ｘ１２使用）

**危険**

バッテリーに接続する際は、プラス側を
先に接続してください。
また、外す際は、マイナス側から外して
ください。
守らないと、ショートして、火災が起こり、
死亡事故を引き起こす恐れがあります。

**※組付け後、エンジン始動に問題ないか、**
**ハーネスが発熱しているなどの、**
**不具合はないか、十分確認後、**
**作業をはじめてください。**

**※リチウムイオンバッテリに戻す場合は、**
**逆の手順で、組替えを実施してください。**